

2024 年 4 月 8 日
株式会社ゲンロン

編集長・東浩紀 批評誌『ゲンロン 16』、4 月 10 日発売開始

先行配信『ウクライナと新しい戦時下』を含む小特集「ゲンロンが見たウクライナ」ほか収録

株式会社ゲンロン（本社：東京都品川区西五反田 代表取締役：上田洋子）は、2024 年 4 月 10 日に批評誌『ゲンロン 16』を刊行、全国書店にて販売を開始します。



genron 編集長 | 東浩紀 genron 2024 April

ゲンロン16

4月10日 刊行

- (小特集) **ゲンロンが見たウクライナ**
- (論考) **東浩紀 | ウクライナと新しい戦時下**
- (インタビュー) **イリヤ・フルジャノフスキー** 聞き手=東浩紀+上田洋子
ユダヤとロシアのあいだで
—— バービン・ヤルの虐殺とソ連という地獄
- (座談会) **夏目房之介+大井昌和+さやわか**
マンガの奥義は現場にあり—— ジャズ、八卦掌、戦後日本
- (座談会) **加藤文元+川上量生+東浩紀**
訂正する真理—— 数学、哲学、エンジニアリング
- (ゲンロンの目) **新川帆立 | エンタメ作家の背骨**

大澤聡 菊間晴子 須藤輝彦 コヤマ 山森みか 辻岡真佐美 堀富沙 ダンロンの目 新川帆立

加藤文元 + 川上量生 + 東浩紀
訂正する真理

東浩紀 | ウクライナと新しい戦時下

ユク・ホイ イ・テックファン 石田英敬 田中功起

夏目房之介+大井昌和+さやわか
マンガの奥義は現場にあり

(小特集) **ゲンロンが見たウクライナ**
イリヤ・フルジャノフスキー
東浩紀/上田洋子

A5判 / 280頁
978-4-907188-54-2

定価: 2,530円(税込)

【編集部より】

『ゲンロン 16』は「観光客の哲学」が実践された号となりました。2023 年 11 月に東浩紀と上田洋子がウクライナに滞在し取材を行なった成果を、小特集「ゲンロンが見たウクライナ」としてお届けします。

二人が現地で目にしたのは、「戦時下」という言葉の陰惨なイメージとはかけ離れた景色でした。無人ドローンのぬいぐるみ、FPS ゲーム風の義勇兵募集ポスター、ミサイルを抱えた聖母……。街角に溢れるポップ化した戦争の表象から、SNS 時代のプロパガンダを考える東の論考「ウクライナと新しい戦時下」が巻頭です。

またこの取材では、インタビューを複数行いました。上田の論考ではその成果をもとに、ウクライナの「ハルキウ派」と呼ばれる写真家集団を紹介します。日常的な対象を写してきた表現者たちにとって、戦争を写すことは可能なのか。生の言葉から考えます。

小特集の最後には、キーウのバービン・ヤル・ホロコースト記念センターの芸術監督を務めた、イリヤ・フルジャノフスキーのインタビューを収めました。ウクライナで起きたホロコーストの記憶の継承を、ロシアとイスラエルふたつの国籍を持つ映画監督が指揮した意味とは。彼はなぜ辞任することになったのか。民族と国家の複雑な関係を伺います。

ほかキーウに暮らす夫婦に戦争が始まったの日のことを聞いたショートインタビューも収録。一面的な報道を離れて、さまざまな声と物を通して戦争を伝える渾身の特集です。

もちろん特集以外の記事も充実しています。マンガと中国武術と戦後日本文化の意外な関係(?)を夏目房之介さんに伺った、大井昌和さん、さやわかさんとの座談会「マンガの奥義は現場にあり」、数学者の加藤文元さん、ドワンゴの川上量生さん、東浩紀が登壇し大反響を呼んだ、ZEN 大学（仮称・設置認可申請中）とゲンロンカフェとの共同公開講座をもとにした「訂正する真理」を軸に、大人気作家新川帆立さんによるエッセイ「エンタメ作家の背骨」、若手の研究者たちによる大江健三郎、ミラン・クンデラをめぐる論考、『ゲンロン』には久しぶりの登場となる大澤聡さんによる三木清についてのエッセイなど、注目の記事が満載です。

戦争という対象に、「真面目」な語り口とはべつの仕方アプローチをする。いつもよりも重厚ながら、ある意味で『ゲンロン』らしい誌面になりました。ぜひ手にとってください。



『ゲンロン 16』 東浩紀 編

判 型：A5 判・並製 | ページ数：280 頁

価 格：2,530 円（税込） | ISBN：978-4-907188-54-2

装画：マリア・プリマチェンコほか | デザイン：川名潤

【目次】

【小特集】 ゲンロンが見たウクライナ

[論考] 東浩紀 | ウクライナと新しい戦時下

上田洋子 | 戦争はどこに「写る」のか——ボリス・ミハイロフとハルキウ派

[取材] 上田洋子 | 「戦争が始まった朝はどうすればいいのかわからなかった」——キーウ市民に聞く

[インタビュー] イリヤ・フルジャノフスキー 聞き手=東浩紀+上田洋子 | ユダヤとロシアのあいだで——バービン・ヤルの虐殺とソ連という地獄

[座談会] 夏目房之介+大井昌和+さやわか | マンガの奥義は現場にあり——ジャズ、八卦掌、戦後日本

[エッセイ] 大澤聡 | ふたつの庭、あるいは碁

[論考] 菊間晴子 | 「見せ消し」の生を歩む——書き直しの作家として的大江健三郎

須藤輝彦 | あいまいなチェコの小説家——ミラン・クンデラのコンテクスト※再掲載

[ゲンロンの目] 新川帆立 | エンタメ作家の背骨

[座談会] 加藤文元+川上量生+東浩紀 | 訂正する真理——数学、哲学、エンジニアリング

[連載] ユク・ホイ | 永遠平和とふたつの普遍的なものの概念 惑星的なものにかんする覚書 第3回 訳=伊勢康平

イ・アレックス・テックアン | レヴィ=ストロースとサイバネティックス 理論と冷戦

第6回 訳=鍵谷怜

石田英敬 | 1960年代の「想像力」 飛び魚と毒薬 第6回

田中功起 | 内省と制度批判 制度を内側から変えること 11月30日から3月12日 日付のあるノート、もしくは日記のようなもの 第17回

[コラム] 山森みか | イスラエルの日常、ときどき非日常 #11 具体性を伴った共存に向けて

辻田真佐憲 | 国威発揚の回顧と展望 #6 「ゆるふわ」ポストも油断できない

福富渉 | タイ現代文学ノート #9 「革命」の憧憬

[コラムマンガ] まつい | 島暮らしのザラシ

寄稿者一覧

English Table of Contents

そのほか、詳細は『ゲンロン 16』特設ページ (<https://webgenron.com/articles/genron16>) をご覧ください。

一般販売について

全国書店・各 EC サイトにて販売を行います。

版元ドットコム | <https://www.hanmoto.com/bd/isbn/9784907188542>

Amazon | <https://www.amazon.co.jp/dp/4907188544/>

本誌ならびに内容に関する取材・お問い合わせは下記までご連絡ください

株式会社ゲンロン

〒141-0031

東京都品川区西五反田 2-24-4 2F

TEL：03-6417-9230 FAX：03-6417-9231

E-mail：pr@genron.co.jp

担 当：野口弘一朗（のぐち・こういちろう）